

月経異常

監修／島根県斐川中央クリニック 院長 下手 公一

症状と所見

処方

比較的体力がある（実証）

肩こり、下腹部痛
実熱証ののぼせ、便秘

桃核承気湯

体力は中程度（中間証）

肩こり、頭痛、不正性器出血、不妊症

桂枝茯苓丸

多愁訴、イライラ、不安、怒りっぽい

加味逍遙散

体力がない（虚証）

貧血傾向、冷え、易疲労感、
浮腫、めまい

当帰芍薬散

月経痛

芍薬甘草湯
（頓服で服用）

産後の生理不順、産後の精神不安

芎帰調血飲

皮膚乾燥、冷え

四物湯

月経過多、子宮出血

芎帰膠艾湯



1point ワンポイント・アドバイス

月経異常をホルモンバランスの乱れと考えるのが西洋医学の基本ですが、内分泌療法には副作用の懸念もあります。漢方では月経異常を瘀血として捉えており、桂枝茯苓丸や桃核承気湯などの駆瘀血剤が代表的な処方となりますが、思春期から更年期に至る年齢の違いや、病態、精神状態などに応じ、処方を選択します。現代病としての月経異常ではストレスの他、無理なダイエットが原因の場合もあり、注意が必要です。